

## 父と私の家族 (My father and my family)

ヤング・リサ

Young, Lisa

(82-372(B): Advanced Japanese II)

私が子供のころは、父は日本と同じようなお父さんだったと思う。会社員だったから、毎日家に遅く帰って、週末だけ一緒に遊びに行けた。母も会社員だったけれども、毎日六時に帰って、夕方には会えた。ところが、高校生になった時、父は家族とよく会えないことが大変すぎると決めたのか、仕事を止めた。でも私は、父と会えない生活に慣れていて、ちょっと変に思った。父は、私により近づくために毎日毎日もっと話を試みるけど、私はそれに慣れていなかったから父と話したくなかった。今でもまだ父と話しをする時、ちょっと違和感があるときがある。

さらに、子供のころには、父はやさしかったと思うけれども、高校と大学の入学式時には、父がうるさくなくなったと思っていた。いつも父は「MITに申し込む！」とか「IVYの学校はどう？」と言っていたが、毎日私はその大学に入学出来ないと思っていたので、そのプレッシャーが大きらいだった。

今大学生だから、父によく会えない。それでいつも忙しくて、家に電話もしない。時々母と父は私に小包みを送れるけれども私はもう独立していると思う。最近の私は、休みのときにしか父と母の生活を見ることができないけど、父は母は家事の責任を平等に担っていると思う。例えば、父は時々食事作り、それに毎日皿を洗う。それから、父も母も同じように弟の育児を担当している。

このように、今の私の家族形態は良いと思う。でもお父さんにとって、家族と仕事を同時にその責任を担うことはちょっと大変なことではないかと思っている。例えば、

父は子供に会えないから、よい関係を築くことはできないので、これは大きい問題だ。

今私の父もまた仕事を始めたので、会社から毎日遅く帰って、母と弟に会える時間がまた少なくなったそうさ。でも今は、家族の経済的なサポートが必要なために、父が働くのは仕方ないと思う。